

平成 16 年度ホタテガイ採苗情報 (第 2 報)

平成 16 年 4 月 23 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「大型のラーバは、全く確認されていません。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

4月16日に山田湾と唐丹湾で生殖腺調査を行いました。

生殖腺指数の平均値は、山田湾で11%、唐丹湾で15%でした。山田湾では、既に産卵を終了している個体が多く見られました。また、唐丹湾では、生殖腺指数が低下しており、産卵が始まったものと考えられます。

◎生殖腺指数 = 生殖腺重量 / 軟体部重量 × 100

2 ラーバの出現状況

4月22日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバは、22個/トン確認されました。その約半数が200μm以上のラーバでしたが、付着間近の大型の個体は全く確認されませんでした。

なお、調査時の水深10m層の水温は7.9℃で、平成9～15年の平均値とほぼ同じ値となっています。

3 試験採苗器による付着稚貝調査

宮古漁協と広田湾漁協が実施した調査では、白浜漁場でのみ1個/袋の稚貝が確認されています。

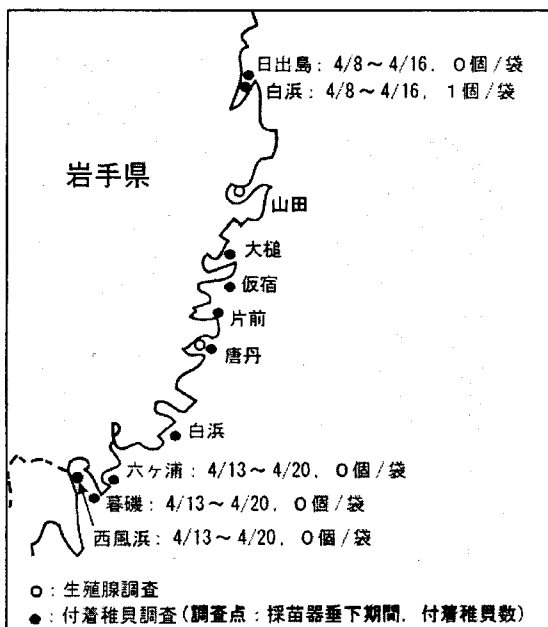


図 調査点と付着稚貝調査結果

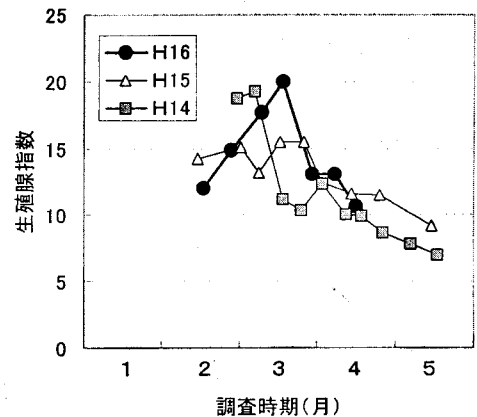


図 生殖腺指数の推移(山田湾)

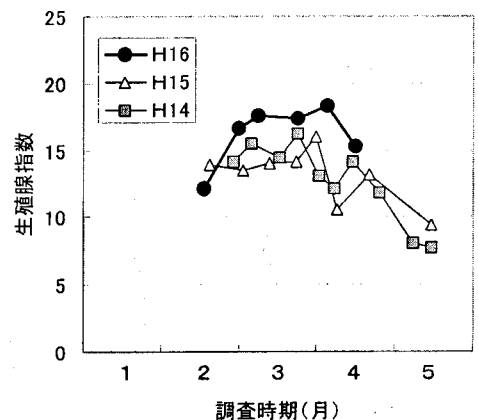


図 生殖腺指数の推移(唐丹湾)

なお、当センターでは、4月22日に唐丹湾に試験採苗器を投入しました。

今後、毎週試験採苗器を投入し、稚貝の付着状況を観察する予定です。

産卵が進み、ラーバが出現しています。

しかし、付着間近の大型ラーバは全く確認されていません。また、水温も低く、付着に適した条件ではないことから、県中南部以南では、まだ、採苗器の投入適期ではありません。

次報は、4月28日頃発行する予定です。